

広報 白寿の友

2013 第197号

平成25年3月21日 発行



社会福祉法人
巻老人福祉協会



ひなまつり音楽会

目次

特別養護老人ホーム 白寿荘東	『餅つき大会』	2
特別養護老人ホーム 白寿荘東	『年忘れ会』『節分』	3
巻デイサービスセンター	『365日(元日も)営業!』『そば打ち』	4
巻デイサービスセンター	『作品の展示』『日常生活の活性化に向けて』	5
白寿荘西	『施設長のあいさつ』『2013年・新年を祝う会』『節分』	6
ケアハウス 白寿荘西	『管理者のあいさつ』『豚汁会』『ホットケーキ作り』『ひなまつり音楽会』	7
七浦の里	『七浦訪問イベントのご紹介!』『体の体操・頭の体操』『初笑い、新春寄席』	8

餅つき大会

1月7日に、新年を迎えて最初の施設行事として餅つき大会が行われました。

一階の食堂ホールを会場として使い、特養のご利用者様やショートステイ・デイサービスのご利用者様も見学していただき、職員と共に「よいしょ！よいしょ！」と大きな声で掛け声を出し、職員で変わるがわる餅をつきました。

昔は、家でも餅つきをしていたと話される方々もいられ、笑顔もみられていました。

ついた餅は、昼食として別室にて、食べていただける方々に職員も付きそい、食べていただきました。

メニューは、あんこ、きなこ、大根おろし等の色々な味を用意し、つきたての餅はやわらかく皆さんから喜んで食べていただきました。

来年も、長くのびるお餅のように長生きしていただき、また餅つき大会に参加していただきたいと思います。



年 忘 れ 会

12月18日に、年忘れ会が一階と二階で行われました。

一階は、ジュースやお茶を飲みながらお菓子を食べゆっくりと会話を楽しんでいらっしゃいました。この日はお酒を飲める人には、少しだけですが飲んでいただきました。そしてカラオケも職員とデュエットで歌ったりと盛り上がっていました。

二階は、ご利用者様とクリスマスケーキを作り、おいしくいただきました。職員による踊りにも皆さんとても喜ばれ、楽しく過ごしていただきました。

また新人職員によるハンドベルの演奏に耳を傾け、皆さん聞き入っていらっしゃいました。



節 分

今年も毎年恒例の豆まきが行われました。

白寿荘東ショートステイにはご利用者様に作っていただいた貼り絵の鬼が飾られていて、ご利用者様からも節分を楽しみにされている声が聞かれていました。

節分当日、鬼に扮装した職員がやってくると「鬼は～そと！福は～うち！」と皆様笑顔で元気よく玉を投げていました。

中には、鬼のかつらをかぶり…

程よく身体を動かした後は、ゆっくりと豆まきの余韻にひたりながら甘納豆を召し上がっていただきました。

今年も皆様にたくさんの幸せが訪れますように…。



365日(元日も)営業！

巻デイサービスセンターは、365日年中無休で営業しています。写真は元日に記念撮影したものです。

皆様の自立支援、家庭介護支援に今後も積極的に努めたいと考えております。



そば打ち

今季も12月3日にすっかり定例となったそば打ちを行いました。2人の名人の方によるそば打ちの技は目を見張るほど手際が良かったです。そば打ちの工程を親切丁寧に教えていただき、職員も一部体験しました。

できたてのそばをご利用者様、名人、みんなでおいしくいただきました。
名人の皆さん、来年もよろしくお願いします！



作品の展示

今年度もショートステイと共同で街中交流館『囲炉裏』で作品展を行い、毎週水曜日に行っている『手芸くらぶ』の貼り絵・編み物・俳句等を展示しました。新聞で報道されたこともあり、多くの方から作品をご覧いただくことができました。



また、作品展の期間中に理学療法士の横山裕子による体操教室や看護師の阿部昌代によるダンベル健康教室も実施いたしました。

12月13日にはご利用者の方々より『囲炉裏』を訪問していただき、作品展を見学されました。

ご自分の作品やお知り合いのご利用者様の作品に興味深そうに眺めておられました。

日常生活の活性化に向けて



日常生活機能維持を目的に、タオルたたみ・衣類たたみ・コップ拭き等を行って頂いております。

施設内の活動に、今後は中庭での園芸等の活動も積極的に行っていただく予定です。



施設長のあいさつ



白寿荘西施設長

佐藤 健一

明けましておめでとうございます。本年も白寿荘西をどうぞよろしくお願い申し上げます。

一月一日より白寿荘西の施設長を務めさせていただきますことになりました。皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は平成十二年より、白寿荘に入職して皆さまと関わらせていただいております。あの頃は技術、知識ともに未熟であり、皆様には大変ご迷惑をおかけしましたが、ご利用者様の明るい笑顔やご家族様の温かい言葉に支えられましたことを日々感謝いたしております。

さて、介護保険が施行になって十三年が経過しようとしており、日本では世界でも例を見ない超高齢社会と言われるようになりました。十三年の間に様々な福祉サービスや制度が創設や変更をする等、国も試行錯誤が続いているような印象は否めません。そのような日本の情勢の中、白寿荘西といたしましては、法人の理念でもあります「地域に信頼されともに歩む施設づくり」をめざして職員一同、精一杯頑張りたいと思います。

今後とも皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

2013年・新年を祝う会

今年の新年を祝う会は、白僚の広場にご利用者の方々が集まり顔見知りの方とお会いし、お話されるなど、交流を持つことができました。ご利用者様一人一人に、お弁当が配られて「おいしい」と喜んでいただきました。

そして、新年の始まりにもっとも相応しい「越王太鼓」の皆さんが演奏を聞かせてくださいました。施設全体に、迫力のある太鼓が響き渡り、

ご利用者の方々は合いの手を入れたり手拍子をされるなど大いに楽しんでいただきました。



節分

二月三日に節分の豆まきを行いました。職員は、鬼の衣装を身に付けて劇を披露しました。鬼が人間と仲良くなりたいたいという内容で「泣いた赤鬼」という劇を、職員がご利用者の方々の前で熱演し、笑いの絶えない劇となりました。

劇が終わると、豆まき開始です。「鬼は外」「福は内」と大きな声で、鬼に豆を投げて、無病息災を願いました。



管理者のあいさつ



ケアハウス管理者

星野 香織

一月よりケアハウス白寿荘西の管理者に就任いたしました。

白寿荘に入職して十八年になりますが、これまで生活相談員として仕事をし現在に至るまで信念としてきたことは、「常にご利用者様とご家族の気持ちになつて物事を考える。」です。事業所を管理する立場になつてもこの気持ちを忘れることなく、入居者の皆様が安心して暮らせるケアハウス、生きがいを持って楽しく暮らせるケアハウスにしていきたいと考えております。

このような重責を担うこととなり緊張感でいっぱいですが、日々勉強し、佐藤施設長を始め職員と一丸になつて白寿荘西の新しい時代を築いていけるよう努力して参ります。

今後とも皆様のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

豚汁会

クリスマス会で入居者の方たちで昼食を作りました。

メニューはおにぎり、豚汁、スイートポテト。

野菜を切る人、お米をとぐ人：久しぶりに自分たちで作ったできたての料理を食べ皆さん大満足されていました。



ホットケーキ作り

忘年会でホットケーキとたこ焼きを作りました。好きなフルーツやアイスをトッピングし「甘くておいしいね」「初めて食べた」と喜んでいただきました。



ひなまつり音楽会

三月二日、亀倉先生の音楽療法と「コラボレーション」でひなまつり音楽会を行いました。

たくさん歌った後は甘酒のどを潤し、とても楽しいひなまつりになりました。



ボランティア大募集 どんな訪問でも！まずはお電話ください。TEL0256-77-2227

七浦の里

通い泊まり・訪問の
小規模多機能型
居宅介護事業所
西浦区越前浜
683-8番地1

七浦訪問イベントのご紹介！



訪問団体様
イベントご紹介！
いつもありがとうございます。
お待ちしております。
今後ともよろしく
お願いします。



利用者家族(奥様)
唄、踊り
ギター弾き語り
ハーモニカ
腹話術



読み聞かせ会
大正琴
フラダンス
ハナミスキの会(唄)
マジック



我がグループも！
と思われる方はどどん
ご連絡ください。
ご利用者様職員一同
待っています
連絡先 高村まで



おめでた！長女が誕生



8月6日に職員
の横山麻美介護員
に長女奏(そあ)
ちゃんが誕生しま
した。現在、仕事
と家事を両立し頑
張っています。
ご利用者様もか
わい子供を見
ると目が点になっ
てしまします。笑



**体の体操・頭の体操
職員が知恵と工夫でレクリエーション**

厳しい冬を迎え、ドライブへも行けなくなり
ましたが、七浦の里の中は熱気に溢れています。
ダンベル体操や手足の運動等に加え、頭の体
操にも熱気ムンムン。いらなくなったカレンダ
ーの裏をつかい職員が絵を描き、それを裏返し
て「ここには何の絵が描かれていたでしょうか？」
「ハイ、バナナです。そして、そのバナナは何
本描かれていたでしょうか？」等のやりとりを
しています。

問題「初・春・夏・〇・秋・九」〇の中にはど
んな文字が入るでしょうか？
答えは(名)です。相撲の場所、初場所、春
場所、夏場所、名古屋場所、秋場所、九州場所

外部活動も頑張ってます！

2月16日(土)

西浦地区在宅医療ネットワーク総
会にて『在宅における認知症支援の
現状』と課題についての事例発表
高村管理者が発表しました。

2月22日(金)

家族介護者教室で七浦劇団が寸劇！



**初笑い、新春寄席
日本福祉医療専門学生が腕前披露**

2月21日、笑顔にする方法を学ぶ授業の一
環で、介護福祉士を志す2年生がコントやマ
ジック、落語を披露してくれました。

歓迎の拍手から始まり、最後は七浦の里の
ご利用者様を代表して小山様の感謝の言葉で
締めくくりました。小山さんは、『楽しかった。
企画した生徒たちの気持ちがとてもうれしい』
と喜んでいました。この日は、地域の方々も
参加し七浦の里が笑いに包まれました。この
日の様子は26日の新潟日報にも掲載されま
した。